

2025年度 事業計画書



学校法人桃山学院
Momoyama Gakuin



持続可能な地域共生社会の実現に貢献する

学校法人桃山学院 理事長 出田 善蔵

桃山学院は1884年、英国聖公会宣教協会（CMS）が大阪の川口外国人居留地（大阪市西区）に三一小学校（男子英学校）を創設したことに端を発し、昨年学院創立140周年を迎えました。幾多の変遷を経て、昭和町キャンパスに中学校と高等学校および桃山学院大学ビジネスデザイン学部、和泉キャンパスに桃山学院大学と大学院を設置するに至っております。堺キャンパスに設置しておりました桃山学院教育大学は、今年度より桃山学院大学人間教育学部として和泉キャンパスで新たな歩みを始めます。各設置学校において、一貫して建学の本旨であるキリスト教精神に基づいた教育を行い、永い歴史のなかで優秀な卒業生を多数輩出し、社会から高い評価を得てきました。一方で、人口減少などに伴う社会経済状況の変化により、私学をとりまく環境は年々厳しさを増し、本学院も少なからずその影響を受けております。

また、国際情勢の急速な悪化により、人々の価値観も大きく変わりつつあります。2015年に国連が採択したSDGs（持続可能な開発目標）への理解浸透も相まって、地球規模での気候変動等への危機感も高まり、社会課題の解決と経済成長の両立に向けた中長期的な取り組みが求められています。社会が、教育機関に期待する役割も変容しつつある、もしくはその兆しが見え始めているのかもしれませんが。

こうした点を踏まえ、本学院においては、2050年を見据えた中長期計画である「桃山学院将来構想」が2023年度からスタートしています。本構想では、パーパス（教育機関としての存在意義）を次の通り掲げております。

「私たちは、キリスト教精神に基づく教育を通じて、社会課題の解決を目指す高い志と奉仕の心をもった人（サーバン・リーダー）を育て、持続可能な地域共生社会を実現します。」

このパーパスのもと、桃山学院は生徒・大学生層にとどまらずに、対象を横軸と縦軸に面的な展開を図ります。具体的には、横軸として南大阪、更には南関西（奈良・和歌山を含む）を基盤にしながら、縦軸として、小・中・高・大、ビジネス層などの社会人、シニア、外国人までを対象に、総合的な教育サービスを展開して参ります。

これによって、本学院は地域と共に発展し、人口問題、少子高齢化問題、外国人受け入れ問題などの地域の課題解決に寄与して参ります。

桃山学院将来構想に基づき、この数年を持続可能な学院へと着実に歩み進めるための機会ととらえ、様々な改革に着手して参ります。昨年度には、和泉キャンパスに環境に配慮した木造新校舎「エレノア館」が竣工いたしました。エレノア館は学生の学び舎としてだけでなく地域連携活動においても積極的に活用する予定です。また、文部科学省の「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」の採択を受け、連携法人と共に経営基盤の強化に向けた取組も始めています。さらに、本年度は桃山学院大学と桃山学院教育大学を統合し、来年度には大学・高専機能強化支援事業の採択により、桃山学院大学としては初となる理系学部である工学部の設置も進めております。

このような状況のもと、教育活動収入としての定員の長期的な確保に加え、補助金収入、寄付金収入、資産運用収入、リカレント教育等の新たな収益基盤の構築など、学生生徒納付金以外の収入の増加を図り、安定的な財務構造の構築を目指します。本学院としても、学院の永続性および発展性を担保すると同時に、教育研究活動の環境整備を行うために適切な財政対応が必要な時期であることを十分に認識し、ここに2025年度の事業計画を策定しました。各事業計画については、PDCAサイクルを十分に稼働させ各々の計画の達成度を確認し、達成できなかった場合はその原因と改善策を探り、より有効なものとなるように進めて参ります。これにより教職員の意識改革も図っていく所存です。

桃山学院将来構想の実現に向けた行動方針に基づき、社会からより評価される学院となることを目指して教職員が一体となって鋭意努力して参りますので、皆様方の一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

CONTENTS

理事長メッセージ	1	桃山学院中学校高等学校事業計画	3
桃山学院大学事業計画	2		



事業計画の策定にあたって

桃山学院大学 学長 中野 瑞彦

桃山学院大学は、「キリスト教精神に基づく世界の市民の養成」を建学の精神として 1959 年に開学しました。開学時は経済学部経済学科のみの単科大学でしたが、2025 年に桃山学院教育大学と統合して人間教育学部が誕生するなど学部・学科の設置や改組を行い、現在では 7 学部 8 学科・4 大学院研究科を擁する大学となりました。2026 年には、本学初の理系学部である工学部を和泉キャンパスに設置検討を進めており、今後も改革を重ねていきます。

2025 年度は、「第三次大学中期計画」の初年度となります。本中期計画は 18 歳人口が減少する 2030 年度以降に対処するための大学の土台作りと位置づけており、2025 年度から 2027 年度の 3 年間の計画の中で「教育改革」、「研究改革・教育研究資産改革」、「社会貢献活動」、「大学構造改革」を 4 つの柱としています。この計画を通して、本学が育成する学生像を明確化し、注力することにより、少子化時代に生き残るための基盤を固め、南大阪を中心とした地域において確固たる地位を確立することを目的としています。

本学が今後さらに発展するためには、本中期計画に取り組むなかで、教育分野において競争優位を持つ先鋭部分の創出が必要であると考えます。全ての構成員が互いに協力して計画を推進する体制を組み、迅速に実行できるよう対応していく所存です。今後も学生第一の精神で、教職員協働で取り組んで参ります。

■ 2025 年度の主な事業について

<教育改革>

第三次大学中期計画に盛り込んだ改革案を適宜検証し、取り進めていきます。特に以下の 4 点に注力します。

- ①学部教育改革として、各学部が本中期計画の推進のために策定した改革案を実行していく。また、人間教育学部の教育内容、学生支援体制を踏まえ、教学上の統合効果を追求する。
- ②共通教育改革として、共通教育のカリキュラム・ポリシーおよび科目編成の見直しに着手する。
- ③学部横断教育改革として、複数学部による副専攻プログラムを設定するための検討を進める。
- ④ディプロマ・ポリシー達成のためのカリキュラム、授業形態、指導体制の整備を進める。

<研究改革・教育研究資産改革>

各教員の研究成果を可視化するとともに社会へ発信します。また、学生の学修進度をさらに可視化するための体制整備を進めます。

<社会貢献活動>

ボランティアや地域連携活動をする学生に対して、他地域で主体的に活動できるよう、活動費用を支援します。また、地域ニーズに沿った、年代別の健康増進プログラムやリカレント教育プログラムを実施していきます。具体的には、社会人のキャリア・アップ支援、リスクリング支援を念頭に置くプログラムを実施します。

<大学構造改革>

第三次大学中期計画の遂行のために必要な体制を構築します。具体的には以下の 2 点に取り組みます。

- ①教学マネジメント体制を確立する。
- ②環境変化に柔軟に対応するための諸制度の見直しおよび大学行政システムのスリム化を図る。



事業計画策定にあたって

桃山学院中学校高等学校 校長 生田 耕三

英国聖公会宣教師 C.F. ワレン師らにより設立された桃山学院は、今年で 141 年目を迎えます。この長い歴史の中で、一貫して桃山学院が目指してきたものはキリスト教精神に基づく人間教育であり、自由を尊重する校風の中で、自らの責任を自覚し、自主的な規律を作って、これを守っていく良識ある若者を育てることです。桃山学院中学校高等学校は生徒一人ひとりの人格と個性を尊重しつつ、真に社会に貢献できる「人間力」を備えた若者をこれからも育成していきます。また、長い歴史の中で創りあげられた自由な校風を大切にしつつ、大学進学実績向上に向けて教職員一丸となって努力します。

・2025 年度の主な事業について

<進路指導の充実>

生徒たちが希望する進路、多様な進路を大切に、進学実績の向上をはかっていきます。S 選抜コースのさらなる発展・充実等により、超難関大学への進学実績も高めます。個別指導型支援の推進と連動して推薦入試対策を拡充し、国公立大学合格実績の向上を目指します。

<グローバル教育の推進>

ポストコロナで以前よりも海外との交流がさらに活発になっています。留学も双方向で大きく動いています。その中で海外の高校との交流を深め、生徒の異文化理解を促進します。また、海外大学への進学サポート体制を充実させ、海外大学への進学者を増加させます。

<教員の指導力の向上>

外部講師を招いての研修会や授業見学等を実施し、教員の指導力を高め、生徒の授業満足度を高めます。

<生徒の学習習慣の確立>

日常の指導はもちろん、放課後支援のさらなる充実、発展によって生徒の学習習慣の確立を図ります。

<生徒・教職員のウェルビーイングの向上>

アンケート結果等の分析によって課題を抽出し、必要な対策を行うことでウェルビーイング向上に取り組みます。

<教職員の働き方改革>

外部の多様なリソースを活用した働き方改革を推進していきます。

<SDGs 活動への取り組み>

- ① スクールバイスクールにおいて、ウクライナへの教育支援の継続と募金活動を行います。
- ② リメイク活動（生徒自身で学内施設を補修する活動）を実施します。
- ③ 響プロジェクト（AED の普及および啓蒙活動）・聖バルナバ病院での思春期講座を実施します。
- ④ 環境保全活動（桃山 Go Green Project）を実施します。